

事例 相談・マネジメント・ネットワークの形成

フレンド（兵庫県）

〒651-1313 兵庫県神戸市北区有野中町 1-3-8

TEL 078-982-9595

活動の概要

相談支援事業…障害者相談支援事業として「障害者地域生活支援センター」を開設。障害者等からの相談を365日、24時間体制で受けている。現在1カ所で開設。ピアカウンセリング(同じ障害を抱える者がカウンセラーとなり、相談や支援を行う活動)。

ヘルパー派遣事業…障害者（児を含む）を対象に、ヘルパーを派遣する事業を実施。

ボランティア講座…障害者理解とボランティア養成を目的に講座を開催。また「障害者ふれあい区民ハイキング」と題し、障害者との交流事業を企画実施。

北区障害者ネットワーク連絡会…北区所在の福祉サービス事業者が集まり、ケース検討等を行っている。フレンドは幹事施設として、運営に協力。

就労支援事業…障害者の一般企業就労への支援、転職後の定着支援等を実施。

法人の概要

■経営事業数…3

■法人全体の年間事業収入…65,000千円

■主な経営事業

相談支援事業…障害者地域生活支援センター

居宅介護事業…居宅介護事業所エフ

就労支援事業…神戸市北部地域障害者就労推進センター

実施施設の概要

■施設名…居宅介護事業所エフ

■利用状況（平成17年度実績）

年間利用者数（延べ）…443名

年間利用時間（延べ）…5,702時間

活動の内容

■活動開始の背景（取り組みの経緯）

フレンドの前身にあたる「Fの会」は、平成5年に市の作業委託を受けた神戸市北区所在の4つの知的障害者関係施設（上野丘更生寮、ヨゼフ寮、陽気寮、はっち作業所）によって組織化された団体である。Fの会で

は除草作業等を行い、知的障害者の就労実習の機会として大きな役割を果たしてきた。これらの事業を通じて、Fの会では、地域における障害者の相談支援の必要性と就労に関する支援体制の強化を痛切に感じたという。そこで、Fの会に所属する社会福祉法人3団体（上野丘さつき会、ヨハネ会、陽気会）が出資しあい、社会福祉法人フレンドを設立した。また、その際、社会福祉法人緑水会も参画し、稀にみる社会福祉法人間の協働による法人設立という取り組みが誕生した。

自分たちの町の社会資源や活動できる機会や場所といった情報を基に、ライフプランを組み立てていく上で相談活動は入り口となり、ニーズ把握や具体的なサービス開発のきっかけとなる。障害者の地域生活移行が進む中、福祉サービス事業者は「その人らしい生き方」を相談活動やサービス提供を行う中で見出し、生活支援を行うことが重要だ。必要であれば、フレンドのように社会資源を開発し、ネットワークを形成する。その人にあったケアマネジメント・相談支援を基本としながら、事業者自身の専門性を発揮することが求められる。

■利用者の声、地域の反応

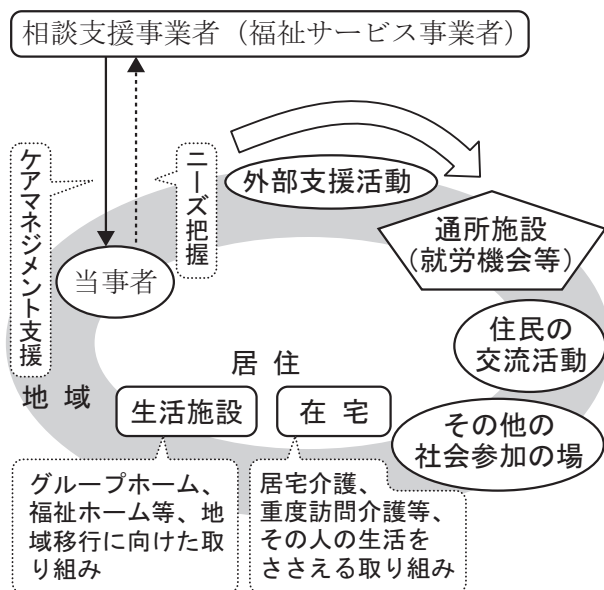
法人をつくった4つの施設と当法人が少しずつではあるが、地域にお住いの障害のある方が少しでも地域で住みやすくなるように支援を行い、施設に入所している方の地域移行にもとりくんでおり、地域でそれなりの評価を得ていると思っている。

また、最近就労支援にもとりくんでおり、一般就労者を出すなどの活動を行っているので、その相談も増え、利用者も増えている。

活動の成果、地域の影響、今後の課題

※相談活動により見えてきた課題への対応

- ・生活支援ネットワークの形成
- ・関係団体間ネットワーク
- ・あらたな社会資源開発 など



◆相談活動はニーズ把握や社会資源開発のきっかけとなる

◆相談活動を通じて、当事者の「その人らしい生き方」を支援